

専門医を取った、さあどうする

2025年 医局説明会

自治医科大学附属病院 集中治療部

自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科・集中治療部

讃井 将満



自治医科大学
Jichi Medical University



自治医科大学附属病院
Jichi Medical University Hospital

*Dept. of Anesthesiology and Critical Care Medicine
Jichi Medical University Saitama Medical Center*



自己紹介

一言で言えば...

- 米国で臨床研修した麻酔科医・集中治療医
- 得意分野：成人集中治療全般、心臓血管外科・臓器移植周術期管理

目標：オールラウンダー

現在の専門：病院経営



UNIVERSITY OF MIAMI
MILLER SCHOOL
of MEDICINE

自分史

手前味噌ですが...

- 1993年 卒業 → スーパーローテート研修

単なる天邪鬼

- 1999年 米国臨床研修

- 2005年 帰国

世の中は必ず合理的な方向に向かう

- クローズドICU → 全国展開

- 究極のサボり屋 → 麻酔科を選択、医師のタスクシフト、tele-ICU、...etc

10年経てば世の中は変わる

- 2020年 COVID-19パンデミック → 地域へ

クローズドICU → 全国展開



今まさに *INTENSIVIST*



林 淑朗氏



讃井 将満氏

■今なぜインテンシブケアか

—— “Intensivist” が創刊されます。「世界標準の集中治療を誰にでもわかりやすく」をコンセプトに、若手医師の育成や情報交換を目的とした研究会、日本集中治療教育研究会 Japanese Society of Education for Physicians and Trainees in Intensive Care (JSEPTIC) の活動報告がそのベースにあるのですが、今、なぜ、集中

上げたい」と考えており、切迫した思いを抱いていたのですが、林先生、藤谷先生と出会ったことで、「何かできる」との思いに変わりました。

藤谷 私も帰国後、しばらく様子を見ていたのですが、この春の日本集中治療医学会に参加して米国とのレベルの違いを痛感しました。無作為化比較試験 (RCT) の必要性は言われるものの、研究デザインが不十分。集中治療を学びたいという人は多いのですが、研修プログラムが充実している研修病院でさえ、集中治療について十分に教えられる指導者がいない。自己流で管理している。「多くが集中治療を勉強するすべを

日本集中治療教育研究会 (JSEPTIC) 設立

自治医科大学附属病院 集中治療部

クローズド ICU

- 16床
- 2025年5月にCCUと合体し、26床のICU/CCUに
- 附属さいたま医療センターと一つの医局として運営

附属さいたま医療センター 集中治療部

2007年から クローズド ICUとして運営



+

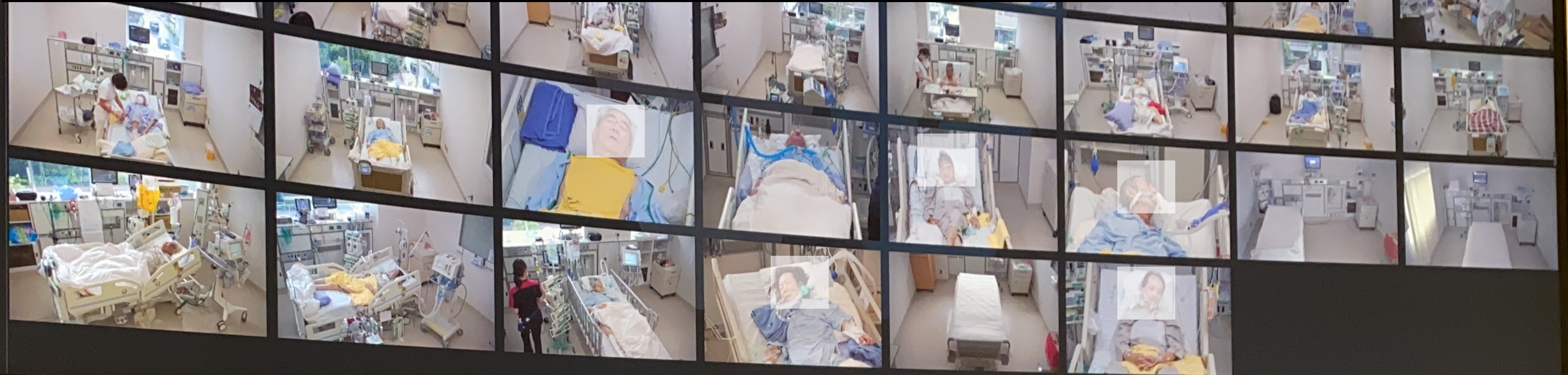


集中治療専門医が、各診療科医師・多職種と協力し、
重症患者診療チームをまとめ、主体的に診療する

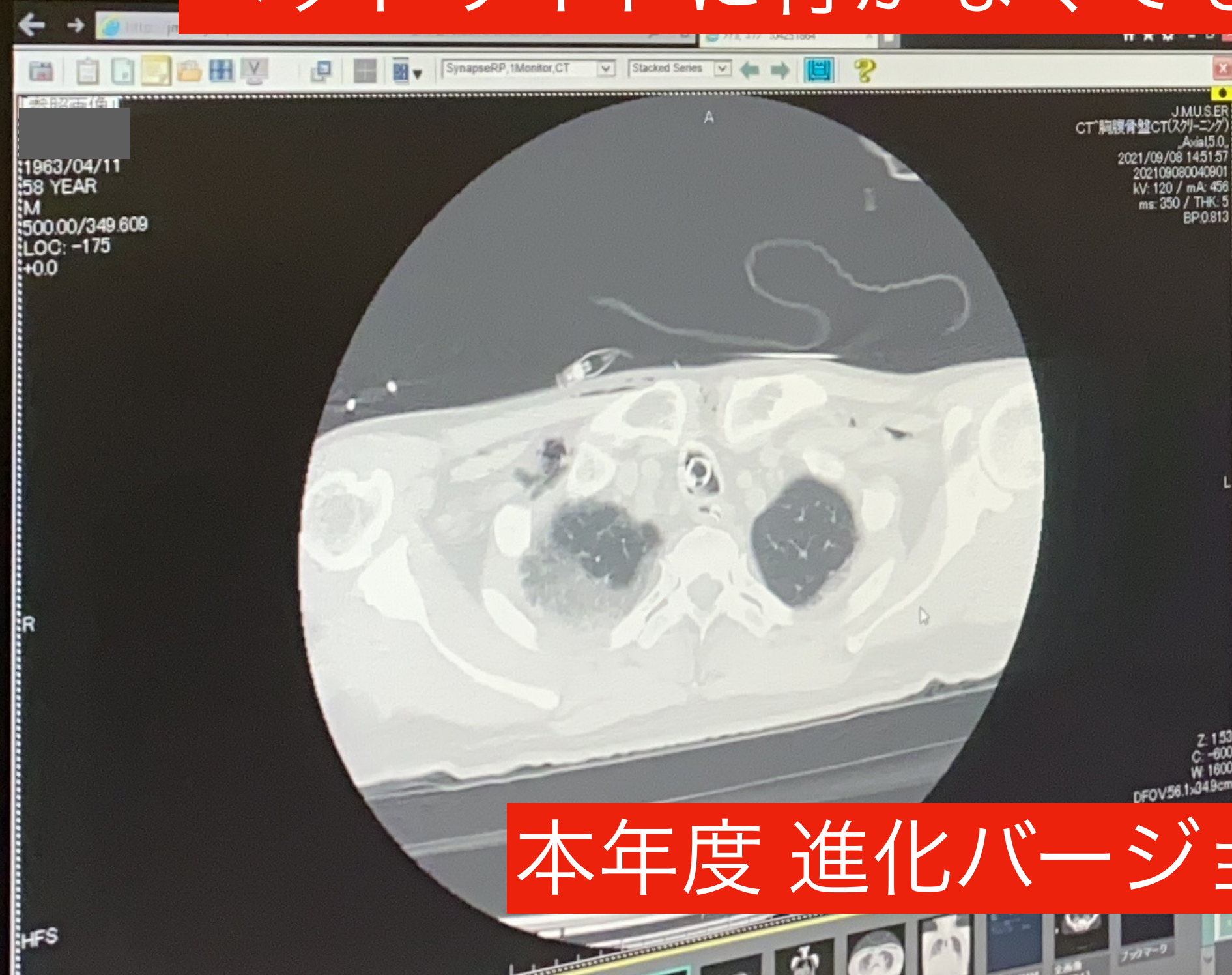
救命ICU 8 ベッド

ICU・CCU 22ベッド

遠隔ICUの取り組み



ベッドサイドに行かなくても95%の情報が得られる



本年度 進化バージョンがスタート



ご自身の人生を振り返って...

人生の分かれ道で、どのような選択をしたか

なぜ、そのような選択をしたか

目標が^ズ決まれば...

目標に向けて、何を、どのように行なったか

目標到達後、どう感じたか

なぜ、そう感じたか

専門医取得後どうする？

麻酔科専攻医研修中のA君・B君

“困っている患者のためになりたい”

- 専攻医A君

- 大学病院で研修中。
- 将来は集中治療をやりたい。
- 勉強は嫌いではない。
- 臨床研究に興味がある。
- 海外留学も経験したい。

- 専攻医B君

- 一般病院で研修中。
- 将来は特に考えていない。
- ほどほどの生活ができればよい。
- 他人に教えるのが好き。学生時代、塾講師をして人気があった。

暮らしていける程度に収入が得られれば満足

専門医取得までは、言うまでもなく...

わかりやすい、平等なレース

- 「正解が与えられた問い」に回答する能力を鍛えることの繰り返し。
- 与えられた同一の評価基準に則った競争。
- ブランド、ラベルが他者からの羨望を招き、自身の価値が認められたと、満足、安心できた。

要は“チヤホヤされてきた”

今後も、同僚・患者・社会から、一定の“チヤホヤ”は持続するが...

人間は、本音とタテマエを使い分ける動物

生きるために必要だが、世の中で最も厄介なのは...

プライド

“勘違い”を招き、裸の王様化、老害の土台となる

“勘違いディジーズ”には、良性和悪性がある

自身の価値

もちろん年収は判断基準の一つに過ぎないが...

三井物産1996万円、伊藤忠商事1804万円 3商社の平均年収
最高に¹

勤務医：1,400万円²

[商社・卸売り](#)

[+ フォロー](#)

2025年6月18日 20:18 (2025年6月21日 22:57更新) [会員限定記事]



上場企業100社社長 2.5～3 億円 vs. 基幹病院病院長 1,500～1,800万円³ (2023年調査)

わかりやすい、平等なレースという意味では...

研究という選択肢は最適

- ただし、オリジナルペーパーのみで...
 - ✓ Jean-Louis Vincent教授：1,300本以上
 - ✓ Rinaldo Bellomo教授：1,812 件以上
 - ✓ Luciano Gattinoni教授：535本以上
 - ✓ 一般的な日本の大学教授：100以上

日本が、自身が、世界の、日本の医療・患者にどの程度、貢献できるか？

人間には得意、不得意がある

30年前と比べると、今は...

バブル崩壊は1990年から始まった

2025年がこうなるとは誰も予測していなかった

- 富士銀行、第一勧業銀行、日本長期信用銀行、山一証券 ...etc

✓ 日経平均4万円 → 9千円

2055年 どうなる？

- がんの告知は「しない」、AIDSはモータル、ベアメタルステント、ラパ担 ...etc
- 主治医制度、医局制度、ストレート研修、専門医信仰 ...etc

麻酔科医の需要は？

- 国民医療費はまだまだ小さく、医療供給体制に大きな瑕疵はなかった

✓ 経営や経費を気にせず、やりたい治療を気兼ねなくできた

“小学生のサッカー”にならないよう、未来を選択すべき？

提案

長く楽しくやり甲斐を失わずに働き続けるには...

何のために、誰のために働くのか

- 自身の価値を冷静に見積もる。
- 自身の得意、不得意を冷静に把握する。
 - ➡ 夢を見つつ、現実も忘れない。
- 組織や社会のニーズ、変化に対するアンテナを貼っておく。
- 将来リスクを最小化するために、ラベルを増やす。
 - ➡ 嫌いなこと、不得意なことは続かない。一方、食わず嫌いがあるのも確か。
 - ➡ やってみて、初めて自分の適性に気づくことも多い。
 - ➡ やってみて、ダメなら次の選択肢に。

失敗は財産

与えられた
同一の評価基準
を捨てる

多様な価値観を自他ともに認める

中央診療部門としての麻酔科医・集中治療医

自身の顧客は誰か考えよう

- 優れた周術期管理・重症患者管理を提供
 - ➡ 患者アウトカムに貢献する プロフェッショナル

最終顧客：自分自身と患者
目の前の顧客：外科医・主治医

主治医も、自身も、チーム医療の一つのピース

メンバーの話をよく聞き、自分の考えを伝える

メンバーを尊重し、チームとして最終ゴールを目指す

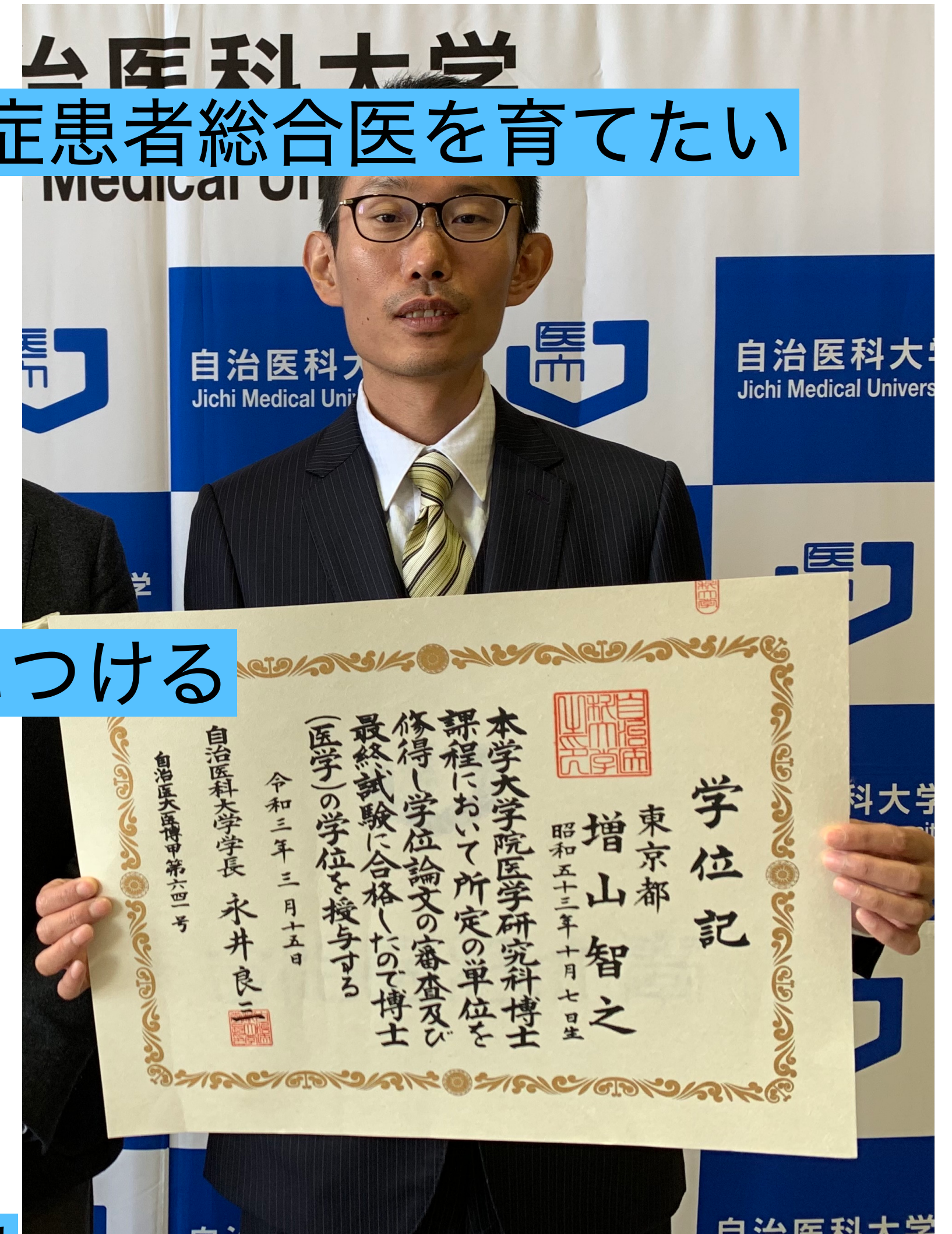
どのような麻酔科医・集中治療医を育てたいか

専攻医教育：三つのモットー

腕が立つ、口も立つ、研究もできる周術期・重症患者総合医を育てたい

- “なぜ”を発動できる
 - 定説・慣習を疑う、「本当？」と問う
- “なぜ”を掘り下げられる
 - まず臨床医としての実力を身につける
 - 考える、議論する、調べる、研究に昇華させる
- “なぜ”を説明できる、書ける
 - 説得力のある話し方、文章力を身につける

医療・医学以外にも通用



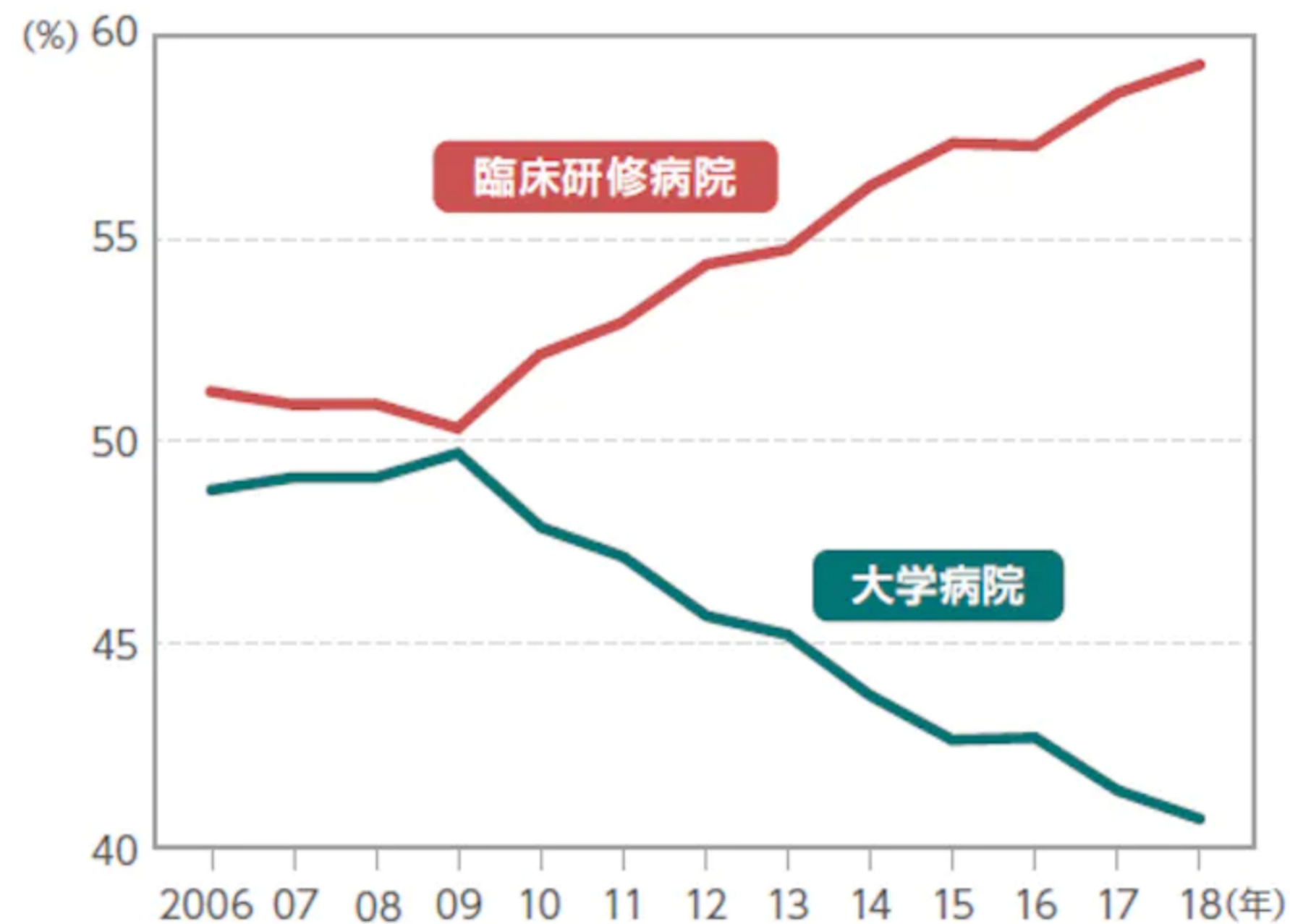
30年後の大学病院運営

”働き方改革”を利用した大学病院改革

多様な選択肢を提供できる

選ばれる大学病院に...

大学病院 vs. 一般病院のマッチ者数の推移



✓ 働き方でも勝負できる

✓ 経済的にも勝負できる

✓ 大学病院の強みを最大限に活かせる

“デパートとしての大学病院”

- 仲間、研究・教育、留学・派遣先、etc...

迷える子羊が気兼ねなく働き、気軽に出入りできる医局に

腕が立つ・口も立つ・研究もできる
経済的にも豊かな
集中治療医になろう

意識が高い人も、そうでない人も

マッチョな人も、そうでない人も

居心地が良い医局を目指しています

麻酔科専攻医研修中のA君・B君

専攻医後の未来は漠然としていても...

- 専攻医A君

- 大学病院で研修中。
- 将来は集中治療をやりたい。
- 勉強は嫌いではない。
- 臨床研究に興味がある。
- 海外留学も経験したい。

- 専攻医B君

- 一般病院で研修中。
- 将来は特に考えていない。
- ほどほどの生活ができればよい。
- 他人に教えるのが好き。学生時代、塾講師をして人気があった。

将来リスクを減らすために、朱に交わって、赤くなってみませんか

msanui@jichi.ac.jp

ご自身の、一度しかない人生を輝かせたいと思う方はご連絡ください